

小児アレルギー研修意識調査

安藤 裕輔¹⁾ 本村知華子²⁾

¹⁾ あんどうこどもクリニック

²⁾ 国立病院機構福岡病院小児科

(日小ア誌 2025; 39: 106-107)

はじめに

第60回日本小児アレルギー学会学術大会(2023)にてキャリア支援委員会ブースを開設した。キャリア形成に関する研修への学会員の意識やニーズ、当委員会への要望を把握する目的で調査を行った。

方法

ブースを訪れた学会参加者へ自記式およびwebでアンケート調査を行った。定性的情報を定量的に分類集約し分析を容易にするアフターコーディング(chatGPT4.0[®])により自由意見を分類した。

結果

回答者の特徴を表1に示す。性別や年代は会員構成に類似していた。92名(全回答者の85.2%)がアレルギー研修施設での研修経験を有し、75名(研修経験者の81.5%)が「診療技術の向上のため」、58名(63.0%)が「専門医資格取得のため」を研修目的と回答していた(表2)。

質問「今後のアレルギー学研修で求めるもの」に対して19名の自由回答が得られ、開業医向けの研修制度、研修の特徴・プログラムに関する希望、研修の柔軟性・参加しやすさ、教育・専門性、研修の内容と短期間研修に分類された。特に研修の柔軟性・参加しやすさの自由欄には「地方での研修を増やす」、「研修施設の増加」をニーズとして回答していた。

■連絡先 〒321-0923 栃木県宇都宮市下栗町1645-1
あんどうこどもクリニック(安藤裕輔)
e-mail: megane.manbou-2000@flute.ocn.ne.jp
(受付日: 2025.2.10)

表1 回答者の特徴 (n=108)

回答者の特徴	人数	%
女性 (n, %)	45	41.7
医師 (n, %)	98	90.7
年齢 (n, %) 50代以上	30	27.8
40代	35	32.4
30代	33	30.6

表2 研修目的 (n=92)

アレルギー研修施設での研修目的	人数	%
診療技術の向上のため	75	81.5
専門医資格取得のため	58	63.0
研究について学ぶため	2	2.2
その他	2	2.2

質問「今後参加したい当委員会の大会企画や知りたい情報」に対して10名の自由回答が寄せられ、「自由に相談ができる場所やメーリングリスト、ツール」「匿名や実名で、症例や実務上の意見交換」「同世代の意見交換会」「地域ごとのアレルギー勉強会の情報」などが挙げられた。また、キャリア支援委員会のサブページの存在を知らない回答者は42名(全回答者の38.9%)であった。

考察

多くの医師が技術向上を目的に研修を行うことが分かる一方、半数以上が専門医資格取得を目的に研修を行っていた。アレルギー専門医研修認定施設は関東、近畿、中部に集中しており、生活圏近くに研修認定施設増加を要望していると考えられた。

また基礎研究やアレルギー研修施設で行う学術的研

究から、開業医向けや短期間研修、地域での研修などのより実践的で参加しやすい研修まで多様なアレルギー学研修への要望が寄せられた。学会員の活躍の場に合わせた技術向上が得られる、生活ステージに合わせた参加しやすい研修体制の多様化が望まれる。

自由に相談ができる学術大会ブース、メールなどの電子ツールを用いた意見交換の場、地域や世代ごとの

意見交換会や勉強会について情報発信などが実現できるよう日々努力していきたい。

利益相反(conflict of interest)に関する開示：著者全員は本論文の研究内容について他者との利害関係を有しません。